

“日本一元気な町づくり”
ふる里復興・創生「継承の年」
一のちを守り、人を活かし・未来をつくる町



遠藤町長

令和4年度第3回広野町議会定例会が9月12日から16日までの会期（13日は休会）で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民のみなさんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルス新規感染者者につきましては、オミクロン株BA.5への置き換わりにより全国的に感染が拡大、医療機関及び保健所機能がひっ迫し、陽性者の全数把握が見直されるなどの対応がとられました。町内においては、7月に80名、8月に225名が確認されました。新規陽性者が確認された際において、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催、現況を精査し、こども園、児童館、小中学校、二ツ沼総合公園並びに社会福祉協議会等の公共施設の対応について協議を行い、防災行政無線広報、町ホームページにより住民周知を行いました。これまで、対策本部会議を175回開催しています。

6月16日、長年交流が続いている静岡県の学校法人沼津学園の桐陽（とうよう）高校の生徒の皆さんが来町され、老人クラブの方が避難生活の状況などの体験談をお話し、交流を深めました。その後、駅東側開発地区に植樹した桜の木周辺の除草や添え木の手入れ作業を行い、「沼津の杜公園」の看板除幕式を行いました。



「沼津の杜公園」の看板除幕式

7月10日、第26回参議院議員通常選挙が実施されました。投票率の向上に向け、6月23日から7月9日までの午前8時30分から午後8時までの時間帯において、期日前投票を実施するとともに、防災行政無線、広報車による投票の啓発活動を実施しました。投票率は56.8%となりました。



ひろの未来館を視察する荒木全国町村会会長

館を視察され、広野町の復興の状況を肌で感じていただきました。荒木会長からは職員に対し、震災以降、懸命に復興に取り組んできたことについて敬意を表する、とのことをお言葉をいただきました。

復興企画課

7月8日、学識経験者、立地企業、NPO法人の代表らで形成する「広野町移住定住検討会」が開催され、新たに『広野町移住定住「共生のまちづくり」促進プラン』を策定しました。

今後、復興創生期間満了となる2030年に向け、将来人口6000人を指すとともに、復興支援等でお世話になった国・県・地方自治体、NPO団体、ひろぼろクラブ、東京福島広野会、大学などの高等学術機関、各企業等、関係するすべての皆様と1000人規模のネットワーク体制を構築し、様々な場面において情報を共有していきます。



「広野町移住定住「共生のまちづくり」促進プラン」を策定

元の理解のもと、安全かつ着実に進めることを要望しました。

7月20日、国への要望活動として、議会と合同で第二期復興・創生期間における被災地の支援継続、福島イノベーションコースト構想の推進、広野駅周辺整備、移住・定住の推進、カーボンニュートラルへの支援について、石井正弘経済産業副大臣、富樫博之復興副大臣、額賀福志郎自由民主党東日本大震災復興加速化本部長、吉野正芳本部長代理、谷公一事務局長、環境省に対し、要望活動を行いました。額賀福志郎本部長からは、被災地の現状から、双葉郡全体がバランスよく復興、発展することが重要であるとのお言葉を頂きました。

ル感染症対策、福島国際研究教育機構、移住・定住施策について意見交換を行いました。その後、交流施設「ひろの未来館」に場所を移し、東京大学及び早稲田大学の研究施設や化石・文化財等の展示を視察されました。知事からは「広野町の被災地における先進的な取り組みは非常に重要な活動です」との評価を頂きました。



ひろの未来館を視察する内堀知事

8月6日、広野町ゼロカーボンアドバイザーに就任頂いた早稲田大学環境総合研究センター 永井祐二 教授を講師に迎え、広野町ゼロカーボンビジョン説明会を開催しました。地球温暖化が原因とされる気候変動、各地で発生する豪雨や猛暑等、気象災害が激甚化・頻発化している中、温室効果ガスの発生を抑制するため企業や家庭において実施する対策、自治体における取り組み等、分かり易く説明いただきました。

8月22日、秋葉賢也復興大臣並びに竹谷とし子復興副大臣が就任挨拶のため来庁されました。議長同席のもと、双葉地方の復興への展望に向けて、町の現状を伝え、意見交換を行いました。出席した課長等からは、これまでの広野町の復興・創生への取り組みを説明し、秋葉大臣からご自身の出身が宮城県丸森町であり「福島浜通りはなじみ深く、復興に向けて尽力する」とのお言葉を頂きました。